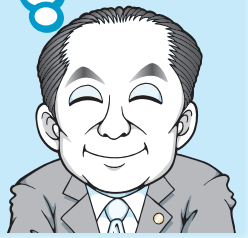


町長の一言



実体は何だろう

この広報紙が発行される頃には落ち着きを取り戻しているかも知れませんが、自宅のテレビのスイッチを入れたら、世界的な金融不安の中で、大暴落した株が少し回復したと思ったら、また暴落したというニュースが流れていました。私のような素人が考えると、それぞれの企業の業績が株価に反映されていない世の中で、企業も人も実体のないバーチャルの中で右往左往しているのでは、と思ってしまう。

同じニュースの中で原油が1バーレル当たり70ドルを割って最高値時の半値になったことが放映されていました。そういえばあの高値の頃、原油が不足しているわけでもないし需要が急激に増加した訳でもないのに何故原油が高騰してしまったのか。(北京オリンピック関連施設の建設の影響だと言う人もいました。)おまけにガソリンの暫定税率の混乱、道路特定財源の是非まで大論争になりましたが、現在は何か「はしか」の後のような状況で、何だったのだろうと考えてしまいます。もうひとつ、トウモロコシ

や小麦の高騰。これらの生産物のシェアの大半は、特定の国で大農場方式により生産されていますが、高騰の原因の一つはガソリンに代わる燃料として、(※)バイオエタノール製造に多く利用されるようになったからだと言う人がいます。

今世界中を見ますと、まだまだ食糧不足で飢餓の国があるのに、ほかの生物資源なら話は分かりますが、食料資源でバイオエタノールを製造することにどうも合点がいきません。トウモロコシや小麦はすぐ食べられますが、石炭や石油は食べられません。何故不足している食料をわざわざ化石燃料に替わるエネルギー資源の原料に充てなくてはならないのか。矛盾を生み出す実体は何だろうかと思っ

※バイオエタノール(バイオマスエタノールとも言う。)は生物資源(バイオマス)から生成されるエタノールを指す。再生可能な自然エネルギーで地球環境にやさしいと言われ、ガソリンに代わる燃料として注目されている。

文芸しろさと

俳句

里山に赤い実飾りななかもど 山崎 正行
新葉やくつきりよぎる鳥の影 飯田 勇一
午後からは一人留守番菊の花 飯村 愛子
急に雲走り白萩はめけり 高橋 芦江
集団の雀風切り豊の秋 いそべ きよ
進む程揺れる吊り橋山葡萄 仲田 まちゑ
鈴虫飼ふ十五センチのズック靴 竹内 幸子
秋桜写して種をもらひけり 田所 厚子
桐の実を豊かにのせて寺の屋根 鯉 潤 寿美恵
今年米艶と元気をもらひけり 飯村 昭子
母の文に涙してをり秋日暮れ 森 静江
鬼胡桃栗鼠に残して高鉄み 中野 千賀子
酔芙蓉激しきのちの身の弛緩 今瀬 多代美
広々と刈田はバスの窓いっぱい 瀬谷 博子
絵手紙や絵筆の調子吾亦紅 岩下 金司
牛軋の峠夕暮れ穂の花 田口 勝元
秋の夜や誰が指揮とる虫の声 東 見 登美子
コスモスや風と戯れかわい顔 富田 欽子

短歌

老後をば思いめぐらす夜長かな 富田 多蔵
靖国神社をテレビが映す終戦の記念日父の霊に合掌す 青柳 京子
新盆の客次々と集いきぬ遺影の夫もうれしげに見ゆ 山形 式妙
威勢よく若者は宅配の品置きて行きたり汗の匂ひ残して 渡辺 千紗子
寄せ植ゑの花の紅白百日紅は同じ樹勢にて半世紀過ぐ 秋山 愛子
夫と娘と三人の旅は風の中柔きすすき穂ゆれつつ初秋 大森 久子
七十年経し紋入提灯を祭壇に飾りて点す灯は重し 佐川 あや
私利私欲の無き新閣僚をと願ひつつ新聞開く朝光の中 杉山 みちこ
大はあちやんおフコに入らうの声うれし血の流れ濃きを改めて知る 宮本 ふみ江
古代蓮の早朝に花開く神祕さよ薄桃色にてほのかに香り来 所 美恵子
彼岸入り香炉の灰を入れ換えて娘と二人香の煙を 阿良山 ウメノ
忘れ癖八十路の坂をついてくる払いのけたしプレイボールで 仲田 こう
人の身は芋葉の露とさくこれど逝きて悲しや仲良しの友 岩下 美知野

川柳

菊の花何色かしら今朝開く緑の中より色美しく 市川 義子
高校生になりたる女孫の初々し髪つややかに乙女の匂いす 枝 不美
秋空は青く澄みたりわが庭の借景の中驚く舞ふ 片見 和枝
南海に散りし若きら憐みつつサーフィンの狂ふがに走る見てゐる 川上 千代子
夕ぐれて涼しき風の吹きくれば白萩花をほろほろこぼす 島 愛子
叩きつけるゲリラ豪雨にワイパーの抵抗せはしく小型車が過ぐ 多田 志保子
逝きし夫の思い出の部屋に右上がりの文字にて書きにしノート見つける 坪井 きよ子
パパの背に乗りてはしやげる幼孫夏陽の輝ける伊師の浜辺に 萩谷 登喜子
支えられ一升餅を背負いたる女孫懸命に歩む誕生日今日 富田 佐智子
川べりをペアで遊ぶ黒トンボ 青木 新三郎
露天風呂初秋がにおう月の影 永井 英陽
ハンサムに弱い私の心電図 中島 芳春
学割をフルに使ってグルメぶり 山本 隆莊